

キャプタン水和剤 オゾンサイド水和剤 80	取扱メーカー： 北興、アリスタ LS 原体メーカー： アリスタ LS
成分： キャプタン……………80.0% その他 PRTR 該当成分： ポリ(オキシエチレン)=ノニルフェニルエーテル[PRTR・1種]…1.0%	性状： 類白色水和性粉末45μm以下 毒性： 普通物 消防法： ——

【品目特性】……………

- 広範囲の病害に有効で、散布剤としての用途のほかに、種子粉衣、球根浸漬などにも使われる。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】……………

〈果樹〉

- 発病盛期に重点をおく。
- 耐性菌対策から他の殺菌剤とのローテーションを組む。

〈野菜〉

- 予防散布に重点をおく。
- 苗立枯病には、種子粉衣及び2～3葉期に全面散布するとよい。

【薬効・薬害等の注意】……………

- りんごの斑点落葉病に対して後期の多発時では効果が劣ることがあるので初期の防除を主体とし、黒点病、黒星病等との同時防除に使用する。
- パイナップルの根腐萎凋病に使用する場合は、植付1カ月以内及びその後発生をみたら直ちに散布液が株元の土壌にも浸透する十分量(10a当り300～400ℓ)散布する。
- チューリップに使用する場合は、球根の土をよく落として15分浸漬する。
- おうとうに使用する場合は5月下旬以降の散布には固着性の強い展着剤を加用しない。
- ブルーベリーに使用する場合は、果実肥大期以降の散布では果実に汚れを生じるおそれがあるので十分注意する。
- コケ類に使用する場合は、発生初期に散布し、十分な効果が得られない場合には、14日前後の間隔で反復処理を行う。

- アルカリ性薬剤、マシン油剤との混用はさける。
- 適用作物(りんご、うめ、いちご、ぶどう、マンゴー)の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。
- 共通注意事項8. 適用作物群に関する注意事項を参照。

【安全対策上の注意】……………

- つまみ菜、間引き菜には使用しない。
- 本剤で塊茎粉衣処理した種しようがは食料や動物飼料として用いない。収穫時には新しようがと塊茎粉衣処理した種しようがを分別し、塊茎粉衣処理した種しようがは確実に廃棄する。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯する。
- 桑葉にかからないように注意する(蚕毒)。
- カブレやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物との接触をさける。
- 夏期高温時の使用をさける。
- 共通注意事項6. 街路・公園・堤とう等で使用する場合は注意事項を参照。
- 魚類に強い影響を及ぼすおそれがあるので特に注意。



【適用と使用法】

作物名	適用病害名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	キャプタンを含む 農薬の総使用回数	
小 麦	赤かび病 葉枯症 黒変病 黒点病	600～ 1000 倍 1000 倍	60～ 150 ℓ	14 日前 まで	4 回以内	散布	4 回以内	
り ん ご	黒星病	600～ 1000 倍	200～ 700 ℓ	前日まで	6 回以内		6 回以内	
	黒点病	800～ 1200 倍						
	斑点落葉病 輪紋病 褐斑病 すす点病 すす斑病	600～ 800 倍						
	炭疽病	800 倍						
	な し	赤星病 黒星病 輪紋病					600～ 1000 倍	3 日前 まで
疫病		1000 倍						
炭疽病								
お う と う	褐色せん孔病 灰星病 炭疽病	800 倍			5 回以内		5 回以内	
も も	縮葉病	600 倍		発芽前	4 回以内		4 回以内	
小 粒 核 果 類	黒星病	800～ 1000 倍		21 日前 まで	3 回以内		3 回以内	
	すす斑病							
ぶ ど う	晩腐病 褐斑病 灰色かび病 べと病 枝膨病 黒とう病	800 倍		30 日前 まで	3 回以内		3 回以内	
	マルメロ	黒点病		1000 倍	14 日前 まで		6 回以内	6 回以内
	ブルーベリー	斑点病		500～ 1000 倍	21 日前 まで		2 回以内	5 回以内 (生育期は2 回以内、収穫 終了後～落葉 期までは3回 以内)
すす点病 灰色かび病		500 倍						
パイナップル	根腐萎凋病		300～ 400 ℓ					
パ パ イ ヤ	炭疽病	600 倍	200～ 700 ℓ	14 日前 まで	3 回以内		3 回以内	
マ ン ゴ ー				7 日前 まで	5 回以内		5 回以内	
か き	落葉病 炭疽病 すす点病	1000 倍						

作物名	適用病害名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	キャプタンを含む 農薬の総使用回数											
は く さ い	黒斑病 白斑病 苗立枯病	600～ 1200 倍	100～ 300 ℓ	7 日 前 ま で	5 回 以 内	散布	6 回 以 内 (種子粉衣は 1 回 以 内, は 種 後 は 5 回 以 内)											
	べと病 炭疽病	600 倍		前日まで			5 回 以 内 (種子粉衣は 1 回 以 内)											
ト マ ト	疫病	800～ 1200 倍						14 日 前 ま で	6 回 以 内 (種子粉衣は 1 回 以 内)									
	葉かび病 灰色かび病	800 倍								前日まで	2 回 以 内							
き ゆ う り	炭疽病 褐斑病	600～ 800 倍										7 日 前 ま で	3 回 以 内 (塊茎粉衣は 1 回 以 内, 灌 注 は 2 回 以 内, 散 布 は 2 回 以 内)					
	べと病	600 倍		30 日 前 ま で										3 回 以 内 (種子粉衣は 1 回 以 内, は 種 後 は 2 回 以 内)				
す い か メ ロ ン	べと病 つる枯病	600 倍						14 日 前 ま で							5 回 以 内 (種子粉衣は 1 回 以 内, は 種 後 は 5 回 以 内)			
	炭疽病						400～ 800 倍			—						8 回 以 内		
し ろ う り か ぼ ち や	べと病						600 倍		8 回 以 内									
	炭疽病			400～ 800 倍	8 回 以 内													
た ま ね ぎ	灰色かび病 白色疫病	600 倍		3 日 前 ま で			2 回 以 内				3 回 以 内 (種子粉衣は 1 回 以 内, は 種 後 は 2 回 以 内)							
葉 た ま ね ぎ	苗立枯病											3 日 前 ま で	2 回 以 内	3 回 以 内 (種子粉衣は 1 回 以 内, は 種 後 は 2 回 以 内)				
し ょ う が	白星病	3 日 前 ま で						2 回 以 内							3 回 以 内 (種子粉衣は 1 回 以 内, は 種 後 は 2 回 以 内)			
い ち ご	灰色かび病 炭疽病 芽枯病									800 倍						30 日 前 ま で	3 回 以 内 (種子粉衣は 1 回 以 内, は 種 後 は 2 回 以 内)	
いんげんまめ	炭疽病								600～ 1200 倍									14 日 前 ま で
ご ぼ う	黒斑病				800 倍													
花き類・観葉植物 (ばら, りんどう, せんにちこう, コスモス, ひまわり, シネリリア, スイートピー, みやこわすれ, アンスリウム, 斑入りアマドコロ を除く)	茎腐病 立枯病 苗立枯病		600 倍	—		8 回 以 内												

作物名	適用病害名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	キャブタンを含む 農薬の総使用回数	
ば ら	黒星病	800 倍	100 ～ 300 ℓ	—	8 回以内	散布	8 回以内	
	茎腐病 立枯病 苗立枯病	600 倍						
	り ん ど う							葉枯病 茎腐病 立枯病 苗立枯病
せん に ち こ う								斑葉病 茎腐病 立枯病 苗立枯病
								コ ス モ ス
	ひ ま わ り							
シ ネ ラ リ ア								
								ス イ ト ピ ー
	みやこわすれ アンスリウム							
斑入りアマドコロ								
		ゆ き や な ぎ	苗立枯病	1000 倍	200 ～	発病初期		
	せ ん り よ う	炭疽病	600 倍	700 ℓ				
芝	葉腐病 (ブラウンパッチ)	300 ～ 500 倍	0.5 ～ 2 ℓ / m ²					
		500 ～ 800 倍	1 ～ 2 ℓ / m ²					
	赤焼病	300 ～ 800 倍						
西 洋 芝 (ペントグラス)	炭疽病	300 ～ 500 倍	0.5 ℓ / m ²					

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	キャプタンを含む農薬の総使用回数
			薬量	希釈水量			
西洋芝 (ペントグラス)	藻類 コケ類	芝生育期 (雑草発生初期)	1～2g /m ²	0.5ℓ /m ²	8回以内	散布	8回以内

作物名	適用病害名	希釈倍数 又は使用量	使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	キャプタンを含む 農薬の総使用回数
せり科葉菜類 (せりを除く)	苗立枯病	800倍	2 ℓ /m ²	は種後から 2～3 葉期 まで	2 回以内	灌注	3 回以内 (種子粉衣は 1 回以内, は種 後は 2 回以内)
ピーマン		種子重量の 0.2～0.4%	—	は種前	1 回	種子粉衣	2 回以内 (種子粉衣は 1 回以内)
とうがらし類		800倍	2 ℓ /m ²	は種後から 2～3 葉期 まで	2 回以内	灌注	3 回以内 (種子粉衣は 1 回以内, は種 後は 2 回以内)
トマト きゅうり なす メロン すいか しろり かぼちゃ		種子重量の 0.2～0.4%	—	は種前	1 回	種子粉衣	5 回以内 (種子粉衣は 1 回以内)
		800倍	2 ℓ /m ²	は種後から 2～3 葉期 まで	5 回以内	灌注	
しょうが	根茎腐敗病	塊茎重量の 2%	—	植付前	1 回	塊茎粉衣	5 回以内 (塊茎粉衣は 1 回以内, 灌注は 2 回以内, 散 布は 2 回以内)
		400倍	3 ℓ /m ²	30 日前 まで	2 回以内	灌注	
チューリップ	青かび病	800～1000 倍	—	球根掘取時 及び植付時	8 回以内	球根浸漬	8 回以内
アイリス				植付前			
ゆり	腐敗病	400 倍		植付前 又は 貯蔵前	1 回	30 分間 球根浸漬	

作物名	適用病害名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	キャプタンを含む農薬の総使用回数
野菜類 豆類(種実) 飼料作物 未成熟とうもろこし	ピシウム・リゾクトニア 菌による病害 (苗立枯病等)	種子重量の 0.2～0.4%	は種前	1回	種子処理 機による 種子粉衣	1回
花き類・ 観葉植物						8回以内